

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	都市下水道事業				開始年度	昭和56年度	
基本目標	公共下水道の整備と水洗化率の向上				終了年度	平成50年度	
担当課(局)	上下水道課	担当係	下水道係	記入者	芥田 賢治	評価者	森 俊彦
21年度決算	409	千円	22年度予算	619	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	874 千円		22年度人件費	868 千円		事業従事者数	0.12 人 0.12 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	快適な生活環境の創造と水質保全を目的として、区域内の雨水排水を処理するため整備した排水路の管理を実施。
事業の内容	市街地の生活環境改善のため、処理区域内の都市下水道(雨水排水)の草刈り・浚渫等を行っていく。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 浸水家屋(床上・下)	雨水排水能力も関係するが、可能な限り適切な維持管理を行い浸水家屋がないように努める
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 浚渫延長	土砂の流入により流下能力の低下とならないよう排水路の浚渫を行っていく。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	浸水家屋(床上・下)	目標値	戸	0.0	0.0	0
		実績値		0.0	0.0	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	浚渫延長	目標値	m	2,000	2,000	2,000
		実績値		900	1,300	
		達成率	%	45.0%	65.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地域が実施している道路側溝の清掃とかとは違い、基本的に大型排水路部分を維持管理しており、地域住民の協働意識が高まれば可能であろうが、浚渫等が主となるため現在のところ町でやらざるをえないと考える。また、現在行っている事業は維持管理であり浸水防除のためには廃止できない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	本町の地形からすれば大型ポンプによる排水防除が必要であるが、通常の降雨における排水防除として十分な効果が得られていると判断している。成果向上のためには、ハード事業の着手が必要であるが現時点では困難である。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	現予算では、毎年、都市下水道全線の浚渫を実施するのは不可能であり、随時見回りを実施しながら、職員自体で作業を実施して経費を抑えている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	協働意識の高まり次第では可能と思われる。

事務事業名	都市下水道事業	担当課(局)	上下水道課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	都市下水道の土砂堆積による浚渫等の維持管理は継続して行っていかなければならない。それに伴う財源については、町の財政状況を踏まえ、たうえでの予算確保と同時に宮越樋管のポンプ車常置について国土交通省へのお願いも続けて行かなくてはならない。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎防災の観点からも継続すべき事業であり、地域住民との協働をすすめてもらいたい。
	コスト	現状維持	